

番号	申請事業名称	テーマ	申請団体名	実施日	事業の目的、事業の概要、補助金の効果 (事業計画書・実績書抜粋)
				実施場所	
				集客数	
1	古代米の田植えから収穫体験と料理講習会	農業体験と料理講習会	古代米復活プロジェクト	令和3年4月28日～ 令和3年12月31日	<p>【目的】</p> <p>希少な古代米の種を残すため、耕作を放棄することなく地元と都市住民の交流の場にして、田植えから稲刈りなどの体験イベントを行う。また料理講習会も行い、古代米の良さや特徴を学んでもらう。</p> <p>【概要】</p> <p>4月：苗作り、田すき、草刈などの田植え準備</p> <p>5月：地元民参加で田植え実施（緊急事態宣言中だったため人数とした）</p> <p>6月：・中丹支援学校の生徒がバケツ稲で田植え体験に参加・都市住民が田植え体験に参加</p> <p>9月：稲刈り体験の募集チラシ作成と新聞広告掲載</p> <p>10月9日：稲刈り体験と料理講習会</p> <p>～12月：天日乾燥→脱穀→籾摺り→精米</p> <p>【効果】</p> <p>体験イベントを通し地元住民との理解と協力で耕作を放棄することなく田植えが実施でき、都市住民との交流も行った。参加者は各自バケツ稲を持ち帰り、支援学校の生徒向けにもバケツ稲を実施。身近な所で成長過程が観察できた。料理講習では古代米を使ったいなり寿司を味わった。次の機会には子ども、孫も連れて参加したいとの声もあった。</p>
				下替地町	
2	漆喰塗り体験	子ども体験イベント	子ども体験実行委員会	令和3年7月17日（土）	<p>【目的】</p> <p>漆喰塗りを体験し、日本家屋のことを大工さんから教えてもらい、子どもたちに日本独自の昔ながらの知恵を学んでもらうため。</p> <p>【概要】</p> <p>漆喰で壁塗り体験を子どもたちにしてもらおうイベントを開催する。ガイドラインにそってコロナウイルス感染対策をし、コロナ禍でもみんなで楽しめる事業である。</p> <p>【成果】</p> <p>子どもと大人みんなで親睦をはかることができた。大工さんから直接教えてもらうことで子どもたちに日本独自の昔ながらの技術を学んでもらえた。漆喰壁というものを体験できたのも良かった。</p>
				綾部市上八田町	
3	マーケティング・ネットワーク夢市場25周年記念 "お気楽オペラ"	音楽イベント	マーケティング・ネットワーク夢市場	令和3年10月17日（日）	<p>【目的】</p> <p>緊急事態宣言が解除され、社会が少しずつ動き出す中、自粛疲れの皆さんに元気を出してもらおう。ランチを楽しみながら、オペラの文化に触れる。</p> <p>【概要】</p> <p>オペラを鑑賞しながら黙食。オペラ曲、参加者にも馴染みのある他のジャンルの曲も披露。オペラとはどのようなものか説明をいただき、また楽曲ごとの説明などを聞き、音楽の知識を高めた。本格的な生歌が聞ける良い機会となった。</p> <p>【成果】</p> <p>本格的な生歌に触れることができた。素晴らしい歌唱力で心に響き感動した。参加者も「良かった」「楽しかった」と明るく元気になったもらえた。歌手の方にも綾部に來られたことを喜んでもらえた。</p>
				茶寮ゆらり 結鶴 広小路（綾部市広小路1丁目2）	
4	サウンドテーブルテニス大会 in 綾部2021	スポーツ大会	京都府視覚障害者協会 綾部支部	令和3年11月11日（木）	<p>【目的】</p> <p>視覚障害者のために卓球をアレンジしたスポーツであるサウンドテーブルテニスを通じて、障害者と健常者の市民の交流の機会を作る。アイマスクをしながら音の鳴るボール（サウンドボール）を使って競技を行うことで、参加者に視覚障害者の生活環境への理解を深めてもらう。</p> <p>【概要】</p> <p>○開会式</p> <p>・「綾姫」による太鼓演奏</p> <p>・山口光代さんによる歌の披露（最後には、参加者みんなも一緒に歌い楽しんだ。）</p> <p>○競技</p> <p>基本的なルール等を説明し、練習をした。その後試合を行った。※全員がアイマスクをつけ、音が出るピンポン玉を使用。</p> <p>【効果】</p> <p>サウンドテーブルテニスは、障害の有無や年齢性別等に関係なく誰もが同じ条件で行えるため、参加者全員で楽しむことができた。また一緒に体を動かすことで、参加者同士交流を深めることもできた。本団体としては初めてサウンドテーブルテニス大会を行うことができたことで活動の幅が広がり、市民や近隣市民と繋がる良い機会となった。</p>
				あやべ・日東精工アリーナ	

5	スパエンキャンプ!	キャンプ事業	綾部青年会議所	中止	<p>【目的】綾部青年会議所ではUターン促進に向けた取り組みを行っている。参加者に改めて綾部の魅力を感じていただき、更なる関心を持っていただくことを目的に、主に綾部市出身で市外在住を対象としたキャンプ事業を開催する。</p> <p>【概要】 主に綾部市出身で市外在住を対象としたキャンプ事業 ブース：外部協力者のもと、参加者にふるさと綾部の魅力を改めて感じていただくための工夫をこらしたブースを用意します。 ○仕事ブース ふれあい酒場/ビール販売所/農産無人コーナー/市役所 ○遊びブース ボーイスカウト/ものづくり/グランドゴルフ/線香花火グランプリ/虫取りキング ○フォトコンテスト 参加員計画：主に綾部出身で市外在住の方20組(100名) ※1組に綾部出身で市外在住の方1名以上含む 以上を計画していたが、電子チラシ作成、横断幕デザインのみ実施。</p> <p>【期待していた効果】 本補助金を活用し、様々な仕掛け・演出を用意することで、参加者が綾部の魅力を感じ、楽しい夏の思い出を作ってもらえることができる。本事業を通じ、参加者の綾部に対する関心が深まることで、Uターンのきっかけづくりになる。また参加者の情報発信により、綾部の魅力を参加者以外にも発信することができる。以上の効果を見込んでいたが、事業は中止した。しかし、電子チラシで広報を行ったことにより、ふるさと綾部の魅力を感じてもらえる宣伝となり、少しでも綾部に対する関心が深まり、Uターンのきっかけづくりに繋がったと考える。</p>
6	コロナに負けない綾部 打ち上げ花火	花火大会	豊里地区自治会連合会	令和3年12月25日(土)	<p>【目的】 コロナ禍で屋内にこもりがちな地域住民の活性化と住民の交流を図る。</p> <p>【概要】 8月21日の実施予定で準備を進めていたが、コロナ感染症対策により、二度にわたって延期を余儀なくされ、「クリスマスナイト・フェスティバル」として実施し、オープニングとして「鼓響SAGA」による太鼓演奏を加えた。コロナ感染症対策については、観覧者は乗車車両からできる限り離れないこと、また隣接車両の観覧者との密を避けマスクの着用を呼びかけた。</p> <p>【効果】 直前まで小雨が降る冬型の寒い悪天候の中であったが、「思いがけない冬花火のクリスマスプレゼントを頂いて感激した」などの声に、打ち上げ花火によって「みんなでコロナをのりこえよう」と共感できる、癒しと交流の場を提供する事ができた。</p>
			綾部市館町綾部市梅林公園前及び多目的グラウンド		
7	世界の合気道を学び楽しむ集い	展示会	綾部合気道協会	令和3年10月24日(日)	<p>【目的】 綾部市民に向けて綾部市と合気道の歴史と素晴らしさを広く知っていただき、綾部市の賑わいの創出となることを目的とする。</p> <p>【概要】 合気道の歴史や内容を紹介するパネル展示やDVDの放映。 パネル展示物 ・合気道開祖植芝盛平の略年表 ・合気道と綾部市の関係 ・合気道の誕生や理念、現在の様子など ・植芝塾(合気道の前身)の発祥や塾の広さなどの再現コーナーなど ・歴代道主の略年表 ・綾部市内の道場の案内 など DVDの放映：「植芝盛平と合気道」1~6巻</p> <p>【効果】 ほとんどの来場者は合気道に関しては知っていましたが、綾部市との関係性などは知らない方が大半でした。今回の展示会でその関係性を知れて非常に興味深かったという声が多かったです。また綾部市民の方が多く、自分の住んでいる地域にこのような武道があり子供にもさせてみたいという声もありました。</p>
			グンゼ博物苑「集蔵」		
8	みんなでコロナをのりこえよう 「里山で元気にサイクリングin綾部」	サイクリングイベント	里山で元気にサイクリング実行委員会	令和3年10月24日(日)	<p>【目的】 コロナ禍において閉じこもりがちな生活が続く中、里山の澄みきった空の下を老若男女が気軽にサイクリングを楽しみ、交流を深め心身を開放する。 経験者、初心者、年齢を問わず、ニーズに応じたコース設定とグループ編成を行い、水源の里の魅力を味わえるようにし、地域に元気を取り戻す一助とする。</p> <p>【概要】 奥上林、中上林、口上林の公道を走るサイクリング ○サイクリングコース (1)あやべ上林を一回り：約80km スタート～市芽谷～古和木～忠町～十倉～大町～市志～ゴール (2)里山をじっくり楽しもう：約40km スタート～古和木～観光センター～大町～市志～ゴール ○地のもてなし ・市志公民館前で「芋煮」の提供 ・ゴールで「とち大福」を提供など E-BIKE利用者もあり、サイクリングの新しいスタイルが作れた 地元自治会の皆様、近隣の自転車協力を得て、安全に且つ友好的で地域色あふれるサイクリングが開催できた。</p> <p>【効果】 閉じこもりがちな生活が続き、個人も地域社会にも閉塞感がある中で、参加者をはじめ伴走や運営スタッフ、そして地域住民の皆様にも活動できる機会がとれた。コロナ禍のあとの地域活性化に少しでもつながることを願うとともに地域との協力体制を築き、今後も活動を続ける。</p>
			奥上林、中上林、口上林二王公園発着		

9	みんなでコロナをのりこえよう「思い思いに楽しく走ろう里山の道」	里山を楽しむイベント	タンデムを楽しむ会	令和3年11月6日(土)	<p>【目的】</p> <p>コロナ禍において特に障害がある方や高齢者は外出自粛による運動不足や人との交流の機会が減少している。この状態を緩和するため、タンデム自転車や車椅子、ハンドサイクルなど多様な運動器具を活用し、自然豊かな里山の道を楽しむ機会をつくる。障害のある人もない人も自ら体を動かす喜びを体感するとともに、スポーツを通じてふれ合い交流を深める。</p> <p>【概要】</p> <p>多様な運動器具を活用し、自然豊かな里山の道を楽しむイベント</p> <p>○事業参加の車種</p> <p>①タンデム(二人乗り自転車)後部座席に視覚障害者乗車</p> <p>②車椅子：自走・電動・競技用</p> <p>③ハンドサイクル：肢体不自由の人が座席に座り、手でハンドルを回す。</p> <p>○コース：二王公園発着</p> <p>スタート～府道1号～上市場右折～草壁公民館(休憩)折り返し～府市場左折～ゴール</p> <p>○地元特産品の「とち大福」を提供し、豊かな自然を味わってもらった。</p> <p>ハンドサイクリング車いすが一緒に公道を走り、それぞれ思い思いに楽しみながら休憩所や発着会場では会話し、交流する姿が見られた。</p>
				綾部市陸寄町二王公園周辺道路	60名
10	ラジオで「あなたの『大切にしたい』を集めよう！」	展示会	小さなアースデイ実行委員会	令和3年6月8日～令和3年3月31日	<p>【目的】</p> <p>コロナの状況下でも、有効な手段であるラジオ番組リクエストを活用して、市民の「大切にしたいコト・モノ」を深く考える体験を提供する。そして集めた「大切にしたいコト・モノ」を参加型アート展示として一般公開し、さらに多くの市民に元気を与えること。</p> <p>【概要】</p> <p>①市民ラジオ放送局ラジオ番組へのリクエストという形で、市民の「大切にしたいコト・モノ」を集める。綾部市12地区中6地区の13か所にリクエストBOXを設置させて頂き、幅広い老若男女の市民からの声を集めた。更に3法人、3団体にも協力を依頼した。</p> <p>②ラジオ放送により、日々の暮らしの中で「大切にしたいコト・モノ」を振り返ることを促した。5番組15回放送。7/8, 7/10, 9/9, 9/11, 11/13, 11/18, 1/15, 1/20, 2/26, 3/3木曜11:30～12:00 & 20:00～20:30、土曜12:30～13:00</p> <p>③この方法で集めた「大切にしたいモノ・コト」を「参加型展示アート」という手法を用いて、一般公開した。7/10, 7/11@ゲンゼスクエア集蔵, 9/11～16, 9/20～26, 9/30～10/6@竹松うどん Gallery, 11/10～15, 11/17～11/22@里山ねっと 森もりホール通路</p> <p>【効果】</p> <p>「大切にしたい」もの・ことを振り返ることを忘れていた市民に、ラジオと展示を通じて考える機会を与え喜ばれた。防災の観点でも重要であるコミュニティラジオだが、電波の弱い地域が存在するため、「いかるは聴けん」という声が多くあった。今回のラジオ番組の宣伝を通じて、実際には、スマホで聴くことが出来るということを広め、高齢の方でも設定一つで簡単にコミュニティラジオを使用可能だということを実証できた。</p>
				綾部市内各所及びFMいかる	
11	あきらめないコミュニケーションの普及と透明マスク作り	体験イベント	サロンなかよし	<p>①令和3年8月20日(金)</p> <p>②令和3年10月8日(金)</p> <p>③令和3年11月12日(金)</p>	<p>【目的】</p> <p>コロナ禍でマスク装着が義務付けられ、相手の口元や表情が見えない状況が続いている。聴覚障害がある市民はもちろんのこと、社会全般に生きづらさが蔓延しているように思う。「きこえの健康」を学びあう場を設け、耳の仕組みや役割その機能など基本的な知識を学ぶ機会にし、『手話言語の確立及び多様なコミュニケーション手段の促進に関する条例』の具体的な普及に繋げる。</p> <p>【概要】</p> <p>①透明マスク作り ②透明マスクを着用し、意見交換</p> <p>③耳の機能についてのDVD鑑賞 ④クイズ形式で聴力測定についての理解を深める。</p> <p>※透明マスクについての普及に努めた。</p> <p>【効果】</p> <p>透明マスクのつけ心地の良さを実感してもらい、相手の表情が見えることで会話がしやすいことを理解してもらえた。また聞こえる人にとっても効果的であることの理解を深め、他団体への普及にも繋がった。</p> <p>透明マスクによる開けたコミュニケーションにより、元気になってもらえ、耳についての講座から気づきや学びがあったと喜んでもらえた。</p>
			綾部市保健福祉センター	①22名 ②19名 ③17名	
12	親子ふれあいDAY	親子遊びイベント	綾部を楽しむ実行委員会	令和4年3月21日(祝月)	<p>【目的】</p> <p>コロナ感染防止緊急事態宣言、まん防等によって、GWや夏休みを自宅で過ごしたお父さまが多かったと思う。そんな子供、親御さんの労をねぎらう場所・時間の提供。コロナ感染に注意を払いつつ、親子がふれあいを行える場の創造。</p> <p>【事業内容】</p> <p>グループディスタンス(家族単位での行動)を中心としたイベント。野外でのイベント、各店舗間の距離をとる。(3m)、テイクアウト中心のイベントにすることによりコロナ対策を行う。子供達が楽しめるよう、宝の地図を作製し、それを頼りに紫水ヶ丘公園(アスレチック)を親子で歩き回り、謎を解くゲームを開催。親子で謎を解くことにより会話を楽しんだり、親子のふれあいを大事にする。一般の市民(大人)も楽しめる様にお店スペースを設け、買い物などを楽しんでもらえるようにした。</p> <p>【効果】</p> <p>コロナでGW中に自宅で過ごしていた子供や子守りをしていた親を労った。子供達も、家の中で過ごす時間が多くストレスが貯まっていたが、外で遊ぶことによりストレス解消できた。親子で謎解きすることにより会話が増えたと喜んでもらえた。親御さんに「こんな機会を与えてくれてありがとうございます」と感謝された。第二回の開催を望む声も複数頂いている。コロナで売り上げが落ち込む飲食店に少しだが貢献できた。</p>
			紫水ヶ丘公園	900名程度	

13	あやべ大学	講演会	あやべ大学実行委員会	令和4年3月13日(日) 令和4年3月20日(日)	<p>【目的】 ニューノーマルにおける地域と大学との連携（域学連携）や地域貢献、地域共生・連携という地学一体という観点より、綾部市の魅力を外部の視点を織り込み発信を行う。また、綾部市在住の地域の方々に地学一体で行う地域人材の育成に関し、他の自治体の成功事例を踏まえて講演を実施することを通じて、綾部市の魅力を発信することを目的とする。</p> <p>【概要】 武庫川女子大学経営学部の教員である藤井善仁氏による研究発表。一年間、志賀郷の住民90名以上の方にアンケート調査を行い、その中で出てきた問題や意見などの発表、考察。「将来は地元に戻ってきて欲しいが仕事がない」「大変な農作業はさせたくない」などの住民の考えている矛盾点や問題点を報告。これからの地域発展を考えるとSNS等を利用し、情報発信が必要とされるなどの提案もあった。今回は藤井先生が住んでおられ志賀郷を中心に調査したため、志賀郷公民館、その他の綾部市民も参加しやすいよう日東精工アリーナの2カ所で開催。</p> <p>【効果】 今までは漠然としていた問題（Uターン、後継ぎなど）を実際の表やグラフで視覚的に把握できた。今後はこれらの問題をどうすれば解決できるかなどを、さらに調査やディスカッションを行っていく。今回は一年間のアンケートを元に現状の把握が中心だが、今後はさらに多くの住民、他の地域の住民にもインタビューを行い、綾部市全体がどのような考え方なのかを調査していきたい。</p>
				13日 志賀郷公民館 20日 あやべ・日東精工アリーナ	13日 50名 20日 25名
14	ココからエンジョイニング	体験会	ぐう・ちょき・ぱあ	令和3年8月1日～令和4年3月3日そのうち10日（体験5回養成講座5回）	<p>【目的】 コロナ感染症予防のため外出をひかえたり、他者との会話や交流の機会が減って疲弊している中、地域を元気にしたい。またリーダーを養成して地域で身近にゲームが実施できるようにしていきたい。</p> <p>【概要】（実施方法）綾部市社社会協地域福祉係を通じて実施場所を紹介していただき、希望される地域団体の5カ所で体験会を実施しました。養成講座はゲームが地域で身近なものとなるようリーダー養成講座を行いました。体験会57名、リーダー養成講座は6名の参加者がありました。（内容）体験会は講師とスタッフ4名で実施しました。マスク着用、体温の測定、手指消毒を行い、指の運動や軽い有酸素運動、文字を書いたり歌を歌ったり太鼓やリボン等の道具も利用して脳活性につながるようなゲームを1時間程度体験していただきました。養成講座は地域で身近にゲームが行えるようゲームリーダーを養成する講座です。受講者は17歳の高校生から70歳代までの6名でした。講座は4回の予定でしたが欠席された方があり、1回補講を追加して全員修了されました。カリキュラムに沿って、20種類のゲームと介護予防や認知症について、地域包括ケアシステムについても学習しました。</p> <p>【効果】 地域の公民館などで実施することで、交通手段のない方にも参加していただきやすく誘い合わせて参加され、高齢者や一人暮らしの方も地域の方々と交流できる機会になりました。指示を聞いてゲームを行い、自分の書いたものを発表するなど、ひとりひとりにスポットを当て、緊張した中にも楽しく取り組んでいただけたのではないかと思います。仕事や地域でゲームを行ってみたい、認知症の理解が深まったとか、通信制に通う高校生は自宅で会話が増えてお母さんが喜んでおられるなど、受講者個々にも変化をもたらしたようです。コロナ感染症が落ち着き、受講生の皆さんが生活の場や地域で活動され、地域が元気になることを楽しみにしています。</p>
				公民館 3地域（東部・中部・西部）包括支援センターの中で各1カ所	体験会57名 リーダー養成講座6名
15	ゼロ・ウェイストの日	映画上映会	チームどんでん返し	令和3年11月23日（祝火）	<p>【目的】 私共は地球環境の改善に取り組む中、とりわけゴミの削減に注力して参りました。この度の事業はゴミを出さない暮らし方をテーマにした映画「ゼロ・ウェイストPLUS」の上映を中心に据えた企画であり、ゴミ50パーセント削減を掲げる綾部市政と軌を一にするものです。ゴミ削減を広く市民に呼びかけ、ゴミを減らす暮らし方への意識高揚を呼びかけます。</p> <p>【概要】 ①地球と共に生きるマルシェ 綾部市環境市民会議と連携しEM石けんなど地球環境に優しい物品を販売。テーマに賛同する方々の地球環境改善に資する物品の販売。 ②映画「ゼロ・ウェイストPLUS」上映 ③上記映画作品の監督及び出演者に登壇して頂き、地球環境とりわけゴミを出さない暮らしに関する話題を対談形式で披露する。</p> <p>【効果】 多くの市民に来ていただいた。ゴミを減らす暮らし方を共に考え、工夫する機会を広めることができた。白鳥監督のトークショーを聞いた方からは「未来に希望が持た」「自分も今日から実践してみようと思う」などの積極的な意見があった。</p>
				綾部市I・Tビル	230名程度
16	雲海カフェと森のギャラリー&音楽会	音楽・文化展	気まぐれギャラリー 奥上林	令和3年11月21日（日）	<p>【目的】 長いコロナ禍で制限された生活が続き、打ちひしがれた心を勇気付けるような場を設ける。大自然の中で音楽を聴きながら楽しく過ごすことで元気を取り戻し、まちの活性化につなげたい。また雲海や奥上林の豊かな自然に親しむことで、綾部の魅力を知ってもらおう。</p> <p>【概要】 日の出とともに雲海が開始→鑑賞 その後光明寺境内に移動して森のギャラリー&音楽会を楽しんでもらった。 ・森のギャラリー・・・奥上林の風景写真 ・音楽会・・・森の音楽会にふさわしい癒しの曲を大音量で視聴</p> <p>【効果】 当日想像以上の雲海が出現し、参加者全員が感動されていた。奥上林の写真やオオサンショウウオの写真を使って、奥上林の自然や文化をPRすることができた。自然の中でゆったりと過ごすことで、コロナ禍での疲れを癒し、市民を元気づけることができた。</p>
				君尾山周辺	40名程度

17	デザイン ラボ	文化イベント	FUN FACTORY	令和3年12月18日(土)	<p>【目的】 都会では美術館やEvent等で、芸術に触れる機会が多い。地方に行くといふれあう機会が極端に少なくなる。私自身、デザイン学校へ行く時には、当時地元では情報を得ることが出来ず、大阪などへ向う情報収集していた。もっと地元にながらも芸術(デザイン)に触れて情報提供できる場所を作りたい。そして「作る」「創造する」事に興味を持ってもらえる人を応援したい。</p> <p>【概要】 子どもたちに好きなイラストを描いてもらい、その絵をデザイナーがデジタルキャラに仕上げている作業過程をモニターに映し見てもらった。現役デザイナーによる悩み相談なども行った。</p> <p>【特に多かった質問】 ・イラストレーターになるためには専門学校は必要ですか。・どんな道具でどうやって描いていますか。</p> <p>【効果】 目の前でキャラクターが出来上がっていく様子に子どもたちはもちろん親御さんも喜んでおられ、みんなで楽しむことができた。質問コーナーでは、ネットでは分からないリアルな情報などを教えることができ、これから進学を考えている学生さんの問題解決につながった地元のイラストレーターやデザイナー同士が新たに繋がることができ、情報交換できる場ともなった。地元企業にもこのイベントに興味を持っていただき、自社イメージキャラクターなどを子どもたちに考えてもらいたいとの声もあがっている。</p>
				綾部市 (アスパ2階空き店舗)	50名程度
18	クリスマススペシャルイベント yoga&opera	スポーツ・音楽イベント	murakami sister's	令和3年12月25日(土)	<p>【目的】 長引く自粛生活の中で地元地域の皆様にヨガとオペラで元氣とリラックス、楽しみを与えるイベントにしたい。</p> <p>【概要】 里山ねっと・あやべを貸し切り。2時間のイベント。</p> <p>①yoga: 2才くらいのお子様から80才くらいのお年寄りを変えたダイナミックなイベントとなった。</p> <p>②opera: クリスマス曲をたくさんうたってください、クリスマスの雰囲気味わえた。</p> <p>③カントリーダンス: サプライズ出演だったため、皆さん驚かれ大成功に終わった。</p> <p>【効果】 綾部でイベントを実施することにより、綾部の魅力を情報発信できた。当日は大阪や丹波の方まで足を運んでいただいた。今後も綾部観光名物の1つとして発信していきたい。</p>
				里山ねっと・あやべ	28名程度
19	綾部の田んぼと食のみらい ～綾部のお米で米粉のクッキング～	食文化イベント	あやべ未来会議	令和4年3月25日(金)	<p>【目的】綾部は米処であるが、近年のコロナ感染拡大による影響で、米余りが問題となっている。昨年は米価も大幅に値下がりし、米農家や米問屋は大打撃を受けている。何もなくとも、安価な海外からの小麦に押しされ、米の需要が年々減り続け、綾部でも米農家の後継者不足で、耕作放棄される田んぼが目立ちはじめた。そんな中、綾部産のお米の今後の可能性を見出すために、綾部産米粉の有用性を市民に多く認知していただく。綾部産米粉の有用性を知り、その食感や風味、どんな料理ができるのかなど、幅広く米粉のことを知る機会をつくる。さらなる「地産地消」を目指し、綾部の農業の今後を応援していきたい。</p> <p>【概要】米粉インストラクターである宮園ナオミ氏を招き、綾部産米粉についてのレクチャーと、米粉料理のデモンストレーションを行った。①田んぼクイズ②日本の食糧自給率③米粉の比較実験で違いを検証④米粉でクッキング(デモンストレーション)⑤Q&A</p> <p>【効果】子供も大人も一緒になって、今後の食を考える機会となった。日本で食糧を自給していくことの大切さ。そしてなにより田んぼは自給率を維持し、環境保全にも繋がることを知ってもらえた。綾部の田んぼも危機的状況にあることを伝え、そして、私たちに何ができるのかなどなど、意見を出したり、考えたりと、積極的に参加いただけた。後半の、米粉の比較実験や、簡単な料理法などもデモンストレーションし、輸入小麦に頼らず、綾部の米粉で工夫してできることを知っていただけた。米粉の実験では、米粉にはメーカーにより違いがあることを知った。</p>
				レンタルスペース「オスキーニ」(青野町)	午前の部: 大人8名子供15名 午後の部: 大人7名子供6名 合計36名
20	サクラチルヤ	文化イベント	A組	令和4年3月29日(火) 令和4年3月30日(水) 令和4年3月31日(木)	<p>【目的】綾部市在住のアーティストと綾部市民の交流。綾部市の文化力の向上。楽しめる場の提供。</p> <p>【概要】 ・桜広場の桜のライトアップ・31日のみイベントを行った ・飲食店の出店(taco.scratch、吉っこう、精進キッチンカーtaiyou&tsuki) ・絵画展示、写真展示を行った ・ダンス等のイベントステージ(綾部高校ダンス部、WK) ・ライブイベント(アーティストの方のインタビューを行った) ・テントの横幕にビニールカーテンを貼り、クレヨンでお絵描きをしていただいた。</p> <p>【効果】 ・綾部にゆかりのあるアーティストの活動を知っていただいた。 ・桜広場の活用例を示した。・A組の存在を知っていただいた。 ・市民の方にダンスやアートなどを楽しんでいただいた。</p>
				紫水ヶ丘公園 桜広場	300名程度
21	ビリヤード台リニューアル記念講習会	スポーツイベント	清山ビリヤード同好会	令和4年3月26日(土)	<p>【目的】綾部市で唯一の本格的ビリヤード台が市の施設である綾部市清山荘に新しく設置されました。広く告知して交流できればと思います。3月26日にはビリヤード協会の方をお呼びして講習会を開き、初心者講座を行い愛好者の増加を目指したい。</p> <p>【概要】昨年清山荘にあるビリヤード台をリニューアルして頂きました。同好会として感謝の気持ちを表す方法として「記念講習会」と銘打って広く市民の皆さんに呼びかけました。講師にビリヤード歴40年超の塩見 孝さん(味方町)をお願いし「年齢に関係なく出来るビリヤードを綾部に普及させたい」という趣旨で引き受けて頂いた。午前、午後の二部制で行い、ビリヤードを楽しみながら指導を受けました。定員(21名)を上回る23名の受講者で大成功だったと思います。</p> <p>【効果】「みんなでコロナをのりこえよう補助金」制度を活用することでより大々的に実施出来ました。あやべ市民新聞にチラシを作成し折り込む事で、綾部市の方々に広く告知出来ました。今までのビリヤード台では上級者は物足りなかったと思います。参加者の中には経験者もあり継続して来ている人もあり、他に数名の方が(初級者)興味を示しておられました。愛好者が増えることを願っています。皆、ワイワイ・ガヤガヤ元氣に楽しく清山荘を活用できました。</p>
				綾部市清山荘	23名